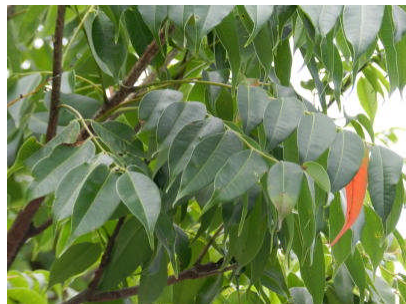
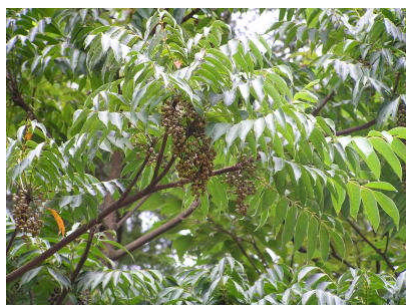


林縁に多い。林内にもある。



奇数複葉で小葉の先端は長く尖る。



葉は枝先に集まって付く。

区別のポイント

葉の付き方がカラスザンショウに似るが、カラスザンショウの樹皮は刺や突起がある。本種は平滑。

形態 落葉高木。

分布 本州（関東地方南部以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来 埴締（はにしめ。黄赤色に染色またはロウを採ることから。）

葉 **〈全体〉**奇数羽状複葉で長さ 20 ～ 30 cm。4 ～ 8 対の小葉がある。小葉の長さは 5 ～ 12 cm、幅 1.8 ～ 4 cm の広披針形から狭長楕円形。

〈付き方〉互生。

〈小葉の葉先〉長く尖る。

〈小葉の縁〉全縁。

備考 有毒：ウルシオール、ラッコール。

出典 4, ※